

令和 4 年度
札幌科学技術専門学校
自己評価及び学校関係者評価結果報告書

学校法人 総合技術学園
札幌科学技術専門学校

本校における学校評価は、学校教育法及び学校教育法施行規則に従い、学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営に改善を図るため必要な措置を講ずることによりその教育水準の向上に努めることを目的としました。

また、自己評価の結果については、学校関係者評価委員会による評価を行い、その結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、地域や企業との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図っていくことに努めます。

1. 学校関係者評価委員

氏 名	種 別	所 属
倉 内 慶 一	高等学校関係者	元北海道あすかぜ高校長、現双葉高等学校教頭
今 井 裕比古	地域住民	大通地区西17丁目町内会長
橋 本 光 江	卒業生	専門課程第4期卒業生（生物工学科）
中 村 みゆき	保護者	専門課程自動二輪車コース2年生保護者
	関連業界関係者	欠員

2. 自己評価及び学校関係者評価委員会の日程

- (1) 1／23（月）・自己評価委員会における学校評価に関する計画の確認
- (2) 1／31（火）・教職員による自己評価の実施
- (3) 2／16（木）・自己評価委員会による自己評価の結果確認及び改善策の検討
- (4) 2／22（木）・自己評価結果①の教職員への提示
- (5) 3／ 3（金）・学校関係者評価委員への「自己評価の結果」、「改善策の評価」依頼
- (6) 3／ 8（水）・自己評価結果②（意見等付記）及び「改善策のまとめ」の教職員・学校関係者評価委員への報告
- (7) 3／28（火）・「学校関係者評価委員からの回答のまとめ」の委員会での確認
- (8) 3／30（木）・上記のまとめを教職員へ提示
- (9) 4／17（月）・「令和4年度自己評価及び学校関係者評価結果報告書」の作成
- (10) 5／22（月）・上記報告書の公表

3-1 令和4年度 自己評価票【高等課程】

評価点:適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

項目	番号	質問内容	評価点	平均
・ 教 目 意 育 標 理	1-1	学則や教育計画(高等課程)等で示す「本校の目的、教育目標、教育方針」は理解しているか	3.4	2.9
	1-2	教育目標達成のため、地域や関連の深い企業の評価や期待を意識しているか	2.5	
	1-3	教育方針達成に向けて、社会や業界のニーズを理解し、学生の実態を踏まえた人材教育を図っているか	2.9	
学校運 営	2-1	年度初めの「学校運営方針」を理解しているか	3.5	2.8
	2-2	「学校運営方針」の中期目標や短期目標を踏まえた事業計画となっているか	3	
	2-3	運営組織や事業推進のためのプロセスが明確で機能しているか	2.6	
	2-4	給与や奨励手当等に関する規則は整備されているか	2.4	
	2-5	教務・財務等の組織・体制は整備されているか	2.8	
	2-6	教育活動等に関する情報公開がホームページ等で適切になされているか	3.1	
	2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.3	
教育活動	3-1	学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携(情報交換と評価)を図っているか	2.1	2.4
	3-2	産業技術者の育成を意識した取組が専門課程と連携した体系的・計画的なものになっているか	2.1	
	3-3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.4	
	3-4	専門課程の各関連学科との連携を強化し、専門課程進学者に求められることを基に、カリキュラムの見直しを行っているか	2.3	
	3-5	専門4分野は産業構造の変化や技術の革新に機敏に対応する教育課程となっているか	2.4	
	3-6	専門課程ガイダンス(1年)・専門課程訪問(2年)による専門課程研究について、計画的・系統的な指導が行われているか	2.6	
	3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.3	
	3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	1.4	
	3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8	
	3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3	
	3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか <small>関連分野における柔軟な連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマインドフルに行われているか</small>	2.4	
	3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	2.1	
	3-13	教員の能力開発のための研修や研修の案内等が行われているか	2.3	
	3-14	教員の能力開発のための研修や研修の案内等が行われているか	2.5	
生徒指導等	4-1	基本的生活習慣の確立のための取組みが行われているか	3.5	3.3
	4-2	生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある生徒等への支援など)が行われているか	3	
	4-3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	3.3	
	4-4	進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	3.4	
等 動 特 別	5-1	特別活動の目的に沿って、計画的・系統的な指導が行われているか	3	2.9
	5-2	保護者会(科技高を応援する会)と連携した活動を推進しているか	2.8	
学修成 果	6-1	学年と進路指導部が連携を強化し、進学率や就職率の向上が図られているか	3.4	2.9
	6-2	学年及び教科と連携して、資格取得率の向上が図られているか	3	
	6-3	教職員が情報を共有し、退学率の低減が図られているか	3.4	
	6-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.5	
	6-5	専門課程との連携を密にするなど、卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.3	
生徒支 援	7-1	生徒・保護者への経済的側面に対する支援体制は十分に機能しているか	3.5	2.9
	7-2	生徒の健康管理に配慮した教育体制はあるか	3	
	7-3	クラブ活動などの課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.6	
	7-4	保護者との連絡・相談・協力依頼など、適切に連携しているか	3.4	
	7-5	卒業生への支援体制はあるか	2.3	
	7-6	専門課程との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	2.3	
環境	8-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう計画的に整備されているか	2.1	2.5
	8-2	健康管理施設、安全施設、防火施設について、点検及び補修・改修計画が示され、適切に行われているか	2.6	
	8-3	防災に対する体制は整備されているか	2.9	
受け 生 募 入 れ	9-1	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3	3.2
	9-2	生徒募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	3.1	
	9-3	生徒募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・進学または就職状況等)は正確に伝えられているか	3.1	
	9-4	生徒納付金は学校運営や生徒募集の観点から妥当なものとなっているか	3.4	
財 務	10-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	2.7
	10-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.8	
	10-3	財務について会計監査が行われているか	3	
	10-4	財務情報公開の体制整備はできているか	2.8	
遵守 の 令 等	11-1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	3.1	3.1
	11-2	個人情報に關し、その保護のための対策がとられているか	3.1	
	11-3	自己評価についての学校関係者評価等の実施と課題の改善を行っているか	3.1	
貢 献 社 会 貢 域	12-1	地域に開かれた学校として、教育活動の報告や公開が行われているか	2.5	2.9
	12-2	生徒のボランティア活動について啓蒙し、計画的に行っているか	3	
	12-3	北校舎として資格試験会場や専門課程との連携・共用を工夫しているか	3.3	

3-2 令和4年度 自己評価票 【専門課程】

評価点: 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

項目	番号	質問内容	評価点	平均
教育目標理念	1-1	学則や教務便覧等で示す「本校の目的、教育目標、教育方針」は理解しているか	3.3	3.1
	1-2	教育目標達成のため、地域や関連の深い企業の評価や期待を意識しているか	3.2	
	1-3	教育方針達成に向けて、社会や業界のニーズを理解し、学生の実態を踏まえた人材教育を図っているか	2.9	
学校運営	2-1	年度初めの「学校運営方針」を理解しているか	3.1	2.7
	2-2	「学校運営方針」の中期目標や短期目標を踏まえた事業計画となっているか	2.9	
	2-3	運営組織や事業推進のためのプロセスが明確で機能しているか	2.6	
	2-4	給与や奨励手当等に関する規則は整備されているか	2.5	
	2-5	教務・財務等の組織・体制は整備されているか	2.6	
	2-6	教育活動等に関する情報公開がホームページ等で適切になされているか	2.9	
	2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.3	
教育活動	3-1	学校評価や情報公開に基づく「質の保証・向上」のため、業界との連携(情報交換と評価)を図っているか	2.7	2.8
	3-2	産業技術者の育成を意識した取組が体系的・計画的なものになっているか	2.8	
	3-3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.9	
	3-4	関連分野の企業や業界団体等との連携により、カリキュラムの見直しを行っているか	2.5	
	3-5	産業構造の変化や技術の革新に機敏に対応する教育課程となっているか	2.5	
	3-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	2.7	
	3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.3	
	3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れるための工夫をしているか	2.5	
	3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5	
	3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.4	
	3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.6	
	3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	2.4	
	3-14	教員の能力開発のための研修や研修の案内等が行われているか	2.7	
学修成果	4-1	就職支援室との連携を強化するなどして、就職率の向上が図られているか	3.0	3.1
	4-2	資格取得のための補習などで支援を強化するなど、資格取得率の向上が図られているか	3.4	
	4-3	学生支援センターと連携を強化するなど、退学率の低減が図られているか	3.3	
	4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.8	
	4-5	就職先企業訪問などの取組による、卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	2.8	
学生支援	5-1	進路・就職に関する支援体制は十分に機能しているか	3.3	3.1
	5-2	学生相談に関する体制は十分に機能しているか	3.3	
	5-3	学生・保護者への経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.5	
	5-4	学生の健康管理に配慮した教育体制はあるか	2.9	
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.9	
	5-6	保護者との情報提供や情報交換など適切な連携がなされているか	3.2	
	5-7	卒業生への支援体制はあるか	2.8	
環境教育	6-1	施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	2.1	2.6
	6-2	インターンシップの奨励等について、十分な教育体制を整備しているか	2.6	
	6-3	防災に対する体制は整備されているか	3.0	
受学募集入れ	7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	2.9	2.8
	7-2	学生募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	2.8	
	7-3	学生募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・就職状況等)は正確に伝えられているか	3.0	
	7-4	学納金は学校経営や学生募集の観点から妥当なものとなっているか	2.6	
財務	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.3	2.7
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.6	
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.2	
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	2.9	
遵守の法令等	9-1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	3.1	3.0
	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.0	
	9-3	自己評価についての学校関係者評価等の実施と課題の改善を行っているか	2.9	
社会貢献・地域	10-1	学校の教育資源や施設を活用(試験会場やセミナーなどへの貸し教室等)した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3	3.0
	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援(保険等への加入など)しているか	2.6	
	10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(中学生の受け入れ等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.2	
国際交流	11-1	留学生の受け入れ・派遣について、工夫や弾力的対応を行っているか	2.9	2.8
	11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適正な手続き等がとられているか	2.9	
	11-3	留学生の学習・生活指導等について学生支援センターと連携した支援体制が整備されているか	2.9	
	11-4	留学生に対しての支援のための規程等は整備されているか	2.6	

4. 令和4年度「自己評価」の結果について

4-1. 令和4年度「自己評価」の結果及び改善策について

《 高等課程 》

1 (3-1) 授業評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携（情報交換と評価）を図っているか (2. 1)

(3-2) 産業技術者の育成を意識した取組が専門課程と連携した体系的・計画的なものになっているか (2. 1)

(改善策)

専門課程との連携は、ある程度の枠組み（見学・体験など）が形成されてからは、暫く停滞していましたと感じています。しかし、令和4年度末から、再度連携を図る新しい動きが出てきており、専門課程の「学生支援センター」、「広報部」、「学務部」と高等課程の各部署・担当との間で、情報交換や打ち合わせを重ねているところです。この動きを継続・活性化させていき、連携を強化して行ければ良いと考える。

2 (3-8) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか (1. 4)

(改善策)

コロナ禍で中止が続いていましたが、「総合的な探究の時間」の科目内において、卒業生を招いて職業講話を実施しています。以前は生徒へ向けてのメッセージを中心に行なっておりましたが、再開後は、招いた卒業生から高等課程で受けた教育・指導について評価を受け、在校生の指導へフィードバックできるようにして行ければ良いと考える。

《 専門課程 》

【教育理念・目標、学校運営、教育活動】

1 (1-3) 教育方針達成に向けて、社会や業界のニーズを理解し、学生の実態を踏まえた人材教育を図っているか (2. 9)

(改善策)

今ある教育理念等は、掲げられていることは至極当然の内容ではあるものの、現職の教職員にとっては古い言い伝えのようにしか思っていないのではないか。学生・保護者にとっても、この学校での2年間で目指すことがわかりにくい。

教育方針5項目に関しては、年度末に教員がその達成度を自己評価し、自身の見直しを図る仕組みとしたい。場合によっては、学生からの評価（授業アンケートに合わせて）があつても良い。

中期ビジョンの推進に合わせて、教育理念等を新しく作り変える時期だと思われる。

2 (2-7) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか (2. 3)

(改善策)

1,2年内に新システムに移行せざるを得ない状況であり、部署・学科が必要としている機能を可能な限り反映させたものとしたい。

コンピュータ、ネット環境等のトラブル発生時には、その対応を情報科教員に頼っている現状である。将来的にはこれらを含めた専任のシステム担当者が必要と考える。

3 (3-4) 関連分野の企業や業界団体等との連携により、カリキュラムの見直しを行っているか

- (3-5) 産業構造の変化や技術の革新に機敏に対応する教育課程となっているか
(3-13) 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか

(改善策)

学務部で予算を計上し、関連企業等で行われる研修への参加を可能とし、最新の知識・技術を少しづつ教育内容に反映すること、カリキュラム再編の基礎資料とすることを全学科に求めていく。

令和6年度にはいくつかの学科でカリキュラムの整理、変更を行う予定である。

職業実践専門課程の推進学科では、その準備作業の中で企業との結びつきが生まれる、あるいはこれまで以上に連携が強くなることで、業界の状況や知識・技術の提供が盛んになることが期待される。

【教育環境、学生の受け入れ・募集】

- 1 (6-1) 施設・設備は、教育上の必要性に対応できるように整備されているか (2.1)

(改善策)

施設に関しては、指摘されている通り老朽化が目立っている。R5年度に関しては、実習棟の屋上防水修繕や故障リフトの入れ替えを予定している。今後は、現状分かっているものについて優先順位をつけ、また施設・設備の改善に関して学校全体の中での優先度を上げられるように働きかけを行い、特に教育活動に直結するものについては計画的に改善に取り組んでいく。

- 2 (6-2) インターンシップの奨励等について、十分な教育体制を整備しているか

(2.6)

(改善策)

現状、インターンシップは行っている。しかし、本校では、大学等のようにインターンシップを科目等として内容を定義して単位を与えるような実施ではない。一定期間、学校の授業に出席するのではなく、インターンシップ先で仕事等を行うことで、その期間の授業を出席扱いにする方法で実施している。その為、「インターンシップ」という言葉を聞いて誤解が生じている面がある一方、「十分な教育体制」が整備されているとまでは言えないのが現状である。今後、インターンシップの学内理解の推進を図り、適切な時期に「十分な教育体制」についての議論が必要となる。

- 3 (7-4) 学納金は学校経営や学生募集の観点から妥当なものになっているか (2.6)

(改善策)

自己評価の意見にもあるように、最近の世界情勢による物価高騰は、本校の継続的な教育活動の維持にも、影響を及ぼしている。学納金の値上げは、学校経営の観点からは必要だと思われるが、学生募集の観点からは様々な角度からの分析が必要とである。いずれにせよ、早い段階で然るべき場での学納金の議論を行うことが必要である。

【国際交流】

- 1 (11-4) 留学生に対しての支援のための規定等は整備されているか (2.6)

(改善策)

留学生の受け入れ体制については、マニュアル化するかどうかは別にして、今後の受け入れの検討をする上で、留学生入学までの流れ（入学条件、入試対応、保証人）、受け入れ学科、留学生の語学力（資格等）、ビザ関係、在籍期間中の特別な対応、卒業の有無と就職先など、過去の実績、これまでの学校の対応等をまとめが必要がある。

このまとめた結果について、教職員と情報共有できれば、各学科等での受け入れ支援のための資料にできる。

4-2. 令和4年度「自己評価」の結果及び改善策に対する学校関係者評価委員からのご意見等について

標記の件につきまして、学校関係者評価委員より貴重な評価やご意見等をいただきましたので、そのまとめをご紹介するとともに、日常における授業や担当業務の推進に参考としていただきたいと思います。

《 高等課程 》

1 自己評価の「結果」に対する評価及びご意見・ご感想

・令和4年度お疲れ様です。貴校の生徒に対する姿勢には頭が下がります。校長先生の式辞は内容が分かりやすく、且つ具体的で心に残ります。若い方たちのこれから明るい将来、苦しい道への指針となりますこと祈ります。

2 自己評価の「改善策」に対する評価及びご意見・ご感想

(1) (3-1) 学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携（情報交換と評価）を図っているか (2. 1)

ア 高等課程と専門課程間での授業に関わる連携は、授業力向上に資するものと考えています。専門課程を招いての授業・交流授業など、工夫をこらした連携が求められます。生徒を活用することも考えられます。

イ 社会や業界のニーズは、学校関係者だけでなく、私たちもわからないです。テレビ番組やy a h o o !ニュースなどで今のトレンドを知ったり、職員一人一人が今世の中で何が必要とされているかを自ら探し、職員同士で話し合う機会を作るとよいと思います。場合によっては、企業とコラボレーションして何かをやることもできそうです。今はS D G s 関係もよいと思います。

ウ 教育の質の向上には教育環境の整備は不可欠ですが、運営面（財政面）を考えると、すぐには整えられないかと思います。やはり優先順位を考えて整えていくのが一番なのでしょう。

(2) (3-8) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか (1. 4)

ア 卒業生の就職先からの指導・助言をいただくるトの確立も有効かと思います。

イ 卒業生による職業講話は有効かと思います。他の手段による企業との連携策も考えると良いかもしれません。

ウ 卒業生のお話をきくことは今後の指導への参考となると思います。今後も続けてください。

3 その他

- (1) 上半期事業報告書等の資料を同封いただくことで、学校に足を運ばなくても評価できるのはよいと思います。
- (2) コロナ禍が落ち着いたら、学校に足を運んで「見える評価」を実施できたら、なおよいのかと思います。
- (3) 生徒指導・時間外の勤務が多くなり、教員の負担感が増している一方、なかなか待遇面の改善につながらないということを今回の評価票で知りました。仕事へのモチベーションを維持するためにも、適切に仕事量のバランスを取るなどストレスが少なくなるよう就業環境を整えてもらいたいです。
- (4) 質問への回答（課題・改善の方策・意見等）が具体的であり、改善策を練りやすいのではないかと思います。
- (5) それぞれに適切な改善策があげられていると思います。
- (6) 高校としては、卒業生が確実に進路希望を果たしていることの情報はうれしい。

《 専門課程 》

1 自己評価の「結果」に対する評価及びご意見・ご感想

- (1) 他の学校にはなかなかない専門的な知識を学べる学校なのに、それぞれの専門業界とのつながりがやや薄いと感じられます。例えば、卒業生の就職先や学会、展示会、セミナーで人脈を広げ、情報を入手していくことで、様々な業界と連携をしていくってほしいです。
- (2) 卒業生がその後どうなっているのか、どのように活躍しているのかを把握できていないのは、もったいないと思います。今後は卒業生に対して、年に一度でも、「校長室だより」のようなものや、「今どんな仕事や趣味をしているのか」などのアンケート実施を行ってみてもよいと思います。
- (3) コロナ禍の中での運営は厳しいことばかりで、自分自身の現実的なとらえ方は評価できると思います。少しでも改善されることを願います。

2 自己評価の「改善策」に対する評価及びご意見・ご感想

- (1) (1 - 3) 教育方針達成に向けて、社会や業界のニーズを理解し、学生の実態を踏まえた人材教育を図っているか (2. 9)
 - ア 「社会や業界のニーズがわからない」のいいたいことがわからないが、学校に求められていることは何かについて、常に考える必要がある。
 - イ 2年間で生徒が何を身につけ、何ができるようになるのか、時代のニーズや学校に求められることは何かが見えるような学校教育目標になればと思います。

ウ 教育理念は、心にストンとはいるような短めの文章に変更してもよいと思います。
「カギセンから日本の未来を輝かす！」とか・・・

(2) (2-7) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか (2. 3)

ア 今はネット社会で、私の職場では紙ベースではなく、大部分が電子化されています。
会社にもよりますが、ネットを活用した業務が主となっていますので、それに即対応できる人材育成のためにも、情報システムやネット環境はとても大切です。

(3) (3-13) 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか (2. 4)

ア 企業訪問が必要だという意見は、大切にしたい。

イ (行われているとは思われるが) 企業との連携に欠かせないのが、卒業生の活用だと思います。

ウ 高等課程・専門課程とともに、能力開発に関わる取り組みが弱いようで、改善策にもあるように、外部研修やセミナーを取り入れる必要があると思います。今はインターネットで調べれば、学会、セミナー、研修会はたくさんヒットします。私の職場は研究所なので職員が自ら必要な学会、セミナー、研修を探し受けています。また、今はオンラインでの研修も多いので、活用してみてはいかがでしょうか。

(4) (6-2) インターンシップの奨励等について、十分な教育体制を整備しているか (2. 6)

ア インターンシップは事前・事後の指導を含め、しっかり教育課程に位置づけるとよい。一部の教員で行うのではなく、学校全体での取り組みとしたい。

(5) (11-4) 留学生に対しての支援のための規定等は整備されているか (2. 6)

ア 留学生を受け入れている学校に訪問し、アドバイスを受けるとよいです。

3 その他

(1) 高等課程と専門課程の自己評価の様式を統一するとどうでしょう。

(2) コロナになって約3年ほど、今までに行ってきた活動が制限されてもどかしかったと思いますが、最近は行動制限も弱まっているため、これからはたくさんの活動を通して、生徒さんにたくさんの思い出ができることを願っています。

(3) 「校長室だより」100号 2月に達成おめでとうございます。たまに校長の何気ない日々の小コラムや日々の中できちんと笑えたできごと、趣味の話などあればよいと思います。また、絵が得意な過多にお願いして、校長の似顔絵を描いてもらい、「校長室だより」に毎回載せてみると、読む方も親近感が沸くと思います。

(4) 生徒・学生の精神面のケアはとても大切なことですが、対応されている職員・教員のケアも少し心配です。

(5) いつもながら細かいところまで指摘されており、良い点、改善点が分かりやすいです。
時々お会いする学生さんの行儀良い態度に好感が持てます。

(6) 自己評価票の文字が縮小されすぎて、読むのが大変でした。紙の削減目的なら仕方ない
ですが、その旨、一文あると親切かと思います。

(7) 今回の評価について、「令和4年度上半期事業報告書」があったことで、学校のことを
たくさん知ることができ、参考になりました。卒業生として、これから先の運営がどうな
っていくのか心配な部分もありますが、長く続いている学校なので、これから先も教員に
とっても生徒さんにとってもよい学校であり続けてほしいです。

以 上

5.まとめ

令和4年度は前年度までと比較して、新型コロナウィルス感染症の影響は少なくなりましたが、学校行事などの教育活動の一部が縮小されるなどの制限を受ける一年でした。

そのようなことから、学校関係者評価委員会も対面での開催は見送り、文書などによる資料の提供や情報交換・意見聴取等の手段に頼らざるを得ない状況でした。特に、情報の提供については、「令和4年度上半期事業報告」や「校長室だより」などの関係資料を適宜郵送するなどの充実を図ったところです。

以上のような関係もあり、自己評価についての計画的・効率的な学校評価には十分ではありませんが、幸いにも、学校関係者評価委員からの貴重なご意見やアイディアをいただくことができ、今後の課題解決のための取り組みと地域や関係する企業等との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図るなど、今後の学校運営に反映させることができればと考えています。

なお、令和4年度に「科技専中期ビジョン2022～2027」が示されたことから、令和5年度の学校評価については、大幅な見直しと検討が必要となります。自己評価委員会は勿論、学校関係者評価委員の方々のご意見もいただきながら、計画的に「令和5年度 学校評価」を推進する予定ですのでご理解とご協力をお願ひいたします。

最後に、お忙しい中ご協力をいただきました、学校関係者評価委員の各位に感謝を申し上げ、「自己評価及び学校関係者評価結果」の報告といたします。

令和5年6月5日

札幌科学技術専門学校 自己評価委員会
委員長 児玉 佳範（校長）